

平成26年度教育研究活動報告書

氏名	森本 幾子	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士（文学）	職位	講師
専門分野	日本経済史		
Ⅰ 教育活動			
本年度担当科目			
学部	経済史 日本経済史 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 日本歴史の流れ *尾道学入門（15回のうち1回担当）		
Ⅱ 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
（1）〈著書〉「幕末期の中央市場と廻船経営－阿波国撫養山西家廻船の動向から－」大阪歴史学会『ヒストリア』177号、2001年11月			
（2）〈著書（共著）〉藪田貴編『近世の畿内と西国』（清文堂出版、2002年5月）			
（3）〈論文〉「幕末期阿波国における地域市場の構造－撫養山西家の経営分析を中心に－」大阪歴史学会『ヒストリア』第188号（2004年1月）			
（4）〈著書（共著）〉宇佐美英機・藪田貴編『＜江戸＞の人と身分1 都市の身分願望』（吉川弘文館、2010年9月）			
（5）〈著書（共著）〉『阿波・歴史と民衆Ⅳ 生業からみる地域社会 たくましき人々』（（株）徳島教育出版センター、2011年1月）			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
（1）〈論文〉「19世紀～20世紀における徳島の経済と山西家」鳴門教育大学『鳴門史学』28号（2014年1月）			
（2）〈論文〉「幕末明治期における阿波商人の信仰と地域－山西家の信仰と地域－」徳島地方史研究会『史窓』43号（2013年3月）			
（3）〈著書（共著）〉『近江八幡の歴史 第5巻 商人と商い』（滋賀県近江八幡市、2012年3月）			
（4）〈学会発表〉“Tokushima merchants in the North Sea fishery business in the early 20th century”, The Fifth East Asian Conference on Slavic-Eurasian Studies（第5回東アジア・スラブ・ユーラシア学会、2013年8月）			
（5）〈学会発表〉「尾道商人と雲州御廻米御用」（芸備地方史研究会60周年記念大会報告、2013年7月）			
（6）〈学会発表〉「19世紀～20世紀における撫養港と山西家－北海道・カムチャッカへ－」（鳴門史学会大会報告、2013年11月）			
現在の研究テーマ（3つまで）			
（1）19世紀瀬戸内における地域市場の展開			
（2）天保期広島藩政の研究			
（3）19世紀大坂商家の研究			
研究テーマの進捗状況	（1）「19世紀瀬戸内における地域市場の展開」については、研究対象フィールドとして、尾道、鳴門を中心に調査を行った。平成26年度の研究成果は、学術論文（下記）として結実している。今後は、瀬戸内地域経済と日本海地域経済の相互の関係について考察を進めるつもりである。（2）「天保期広島藩政の研究」については、近世後期の広島藩執政年寄（藩の実質的な政治的経済的な権力者）であった今中大学の資料を調査（広島大学図書館所蔵「今中文庫」）し、当時の藩財政状況、徳川将軍家との関係、藩祖顕彰の神社創設等について研究を進めている。研究成果は、広島市主催の歴史講座における講演会として結実している。この講座内容を、平成27年度に論文としてまとめるつもりである。（3）「19世紀大坂商家の研究」については、近世大坂の雑喉場魚問屋の資料から、大坂商家における冠婚葬祭の特徴について調査を行っている。		
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績）			
所属学会・所属団体 役職等			
大阪歴史学会、芸備地方史研究会、徳島地方史研究会、鳴門史学会、日本史研究会、関西大学大阪都市遺産研究センター			